



ごあいさつ

公益社団法人福島県栄養士会

会 長 大塚 綾子

この栄養ふくしま第71号が会員の皆様のお手元に届く頃には、世界と日本が平和であることを願っています。

近年、地球温暖化の影響か、自然災害が頻発し、身近なものとなっています。今号の特集は「災害対応」です。2025年度は、県栄養士会として新たな事業に取り組みました。その一環として、災害時

の栄養・食生活支援に関する体制整備について検討会を開催し、協議を重ねました。

発災時の会員安否確認、関係機関との連携、災害対応備蓄品（特殊栄養食品）の確保など、アクションカードを作成し、迅速な対応ができるよう、今後研修会などを開催する予定です。

災害時の備えとして、備蓄食品などの「物資」だけでなく、避難経路や連絡網など、平常時から「備え」が重要です。「平常時にできていないことは、非常時にはできない」と言われます。そして最も大切なのは、日頃からの健康管理です。災害時に栄養士は栄養・食生活支援を行います。しかし、健康に課題があると、様々な対応が困難になることがあります。

栄養士として、県民の日々の健康づくりや、健康課題への寄り添った対応が、非常時にも活かされます。私たち管理栄養士・栄養士の役割は、いかなる時も重要であると認識することが大切です。

【特集】災害時の対応と備蓄について

- * 『災害時の食事を少しでも食べやすくする工夫』・・・P. 2
- * 『非常時に、円滑に食事提供をするための取り組み』・・・p. 3
- * 『災害に備え、命をつなぐ栄養支援』・・・p. 4
- * 『防災食について』・・・p. 5
- * 『災害時の健康支援活動について』・・・p. 6
- * 『災害発生時の一人ひとりが自ら取り組む対策』・・・p. 7

【支部活動紹介】

- * 『食育イベントと研修会』～会津支部～・・・p. 8
- * 『ふくしま推しの健活フェスタ2025に出展』～県南支部～・・・p. 8
- * 『大熊健康づくりフェスティバル』～相双支部～・・・p. 8
- * 『資質向上と会員交流のための講習会』～県北支部～・・・p. 8
- * 『「動脈硬化性疾患を予防する食事」をテーマとした市民講座開催』～いわき支部～・・・p. 9

【2025年度会員紹介】

- * 賛助会員一覧・・・p. 10
- * 賛助会員からの災害時の対応と備蓄について・・・p. 11
- * 受賞おめでとうございます・・・p. 12
- * ようこそ新入会員・・・p. 15

【活動紹介】

- * 『子ども向け減塩ワークショップ』の取り組み・・・p. 16
- * 『研究発表会・特別講演』・・・p. 16
- * 『そなえる・ふくしま2025』・・・p. 17
- * ホームページ活用法・・・p. 18